

第3次宇都宮市国際化推進計画（素案）に関するパブリックコメントについて

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間 平成31年1月18日（金）～2月18日（月）

(2) 意見の応募者数 5名（男性 4名，女性 1名）
 意見数 13件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	計
人数			4	1	5

2 意見の処理状況

区分	処理区分	件数
A	意見の趣旨等を反映し，計画に盛り込むもの	2件
B	意見の趣旨等は，計画に盛り込み済みと考えるもの	6件
C	計画の参考とするもの	5件
D	計画に盛り込まないもの	0件
E	その他，要望・意見等	0件
計		13件

No.	区分	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	B	海外からの観光客増加の対応について，商店街等での「やさしい日本語」の普及が協調されていることがユニークであるが，関係機関，関係部局と連携し，当該研修（出前講座）において「やさしい日本語」での災害時の対応や宿泊施設での取組などが加味されることを期待する。	訪日外国人が本市で安全に滞在していただくことは重要であると認識しておりますことから，本計画におきまして61頁の細事業番号81「商店街等へのやさしい日本語の普及啓発」の中で，商店街や宿泊施設等に対し，「やさしい日本語」を用いた災害時対応について取り組むこととしております。
2	B	外国人住民意識調査の回答率が10%台と高くはなく，9,000人以上の外国人住民の特性とするには少々無理がある。今後とも実態把握を改善し，日本人住民と外国人住民のトラブル回避や交流状況の改善に向けた取組を継続することを期待する。	外国人住民意識調査や外国人住民意見交換会において外国人住民の意見を把握し，課題を整理したところがあります。本計画におきまして，外国人住民の実態の把握する取り組みとして，47頁の細事業番号40「(仮称)多文化共生ネットワーク連絡会」

			を設置することとしております。
3	A	第2次計画で中間年次に目標値を上回ったが、最終年次の実績値は、目標値を下回った記載があり、消極的イメージがある印象を受け、違和感がある。今後、計画推進上の留意点など記載されることを期待する。	成果指標の実績評価につきましては、「目標値に対する実績値が9割以上達成している状況を『順調』と評価する」としており、ご意見の趣旨をふまえ、評価基準を21頁に追加いたしました。
4	C	昨年市内の小学生を対象としたALTと英語でのイングリッシュキャンプを英語教育の一環として教育委員会が実施したことは画期的である。このような取組は市の国際化推進においても重要であることから、今後は同様のイングリッシュキャンプを複数回実施、対象を中学生に拡大するほか、ALTと英語教師の事前研修を行うなど、指導方法を確立した上で、将来的には本市がすでに実施している中学生の冒険活動センターでの宿泊研修の中で、全中学生が体験できる総合的なプログラムに拡充し、宇都宮市が誇れるまちづくりの一つに発展していくことを期待する。	国際化時代を担う次世代の育成において英語等によるコミュニケーション能力の向上は大切であると認識しておりますことから、「学校等での国際理解教育の推進」に取り組むこととしており、ご提案内容につきましては、参考とさせていただきます。
5	C	活動指針として、姉妹都市への派遣者数が平成29年から平成35年の目標数が同数の55名とは残念である。派遣時期を分ける等ご検討いただき、5年後の目標値は倍になるように期待する。	「姉妹都市への派遣者数」につきましては、相手都市の受入機関と派遣時期や人数等を調整する中で、55名と設定したところであります。引き続き、受入機関との調整を行い、着実な事業の実施に取り組むこととしており、ご提案内容につきましては、参考とさせていただきます。
6	C	「姉妹・文化友好都市との様々な分野での交流の促進」とあり、これまでの5都市との交流事業の実績を踏まえ、新たに経済分野など相互の都市発展に寄与する交流の検討・推進を図るとあるが、相手都市の希望等に期待するだけでなく、こちらから積極的に呼	引き続き、相手都市の希望や意向を確認しながら庁内検討組織において具体的な検討を進め、計画期間内の着実な実施に努めることとしており、ご提案内容につきましては、参考とさせていただきます。

		びかけ、具体化することが大切である。どう支援し、促進を図るか目標値で表してほしい。	
7	B	具体的な計画はこれからだと思うが、市民を主体とした文化やスポーツなどの交流の促進について、行政からの呼びかけや財政支援を期待する。	本計画におきまして、市民主体の文化やスポーツ等のテーマを通じた国際交流の促進を図るため、本計画におきまして52頁の細事業番号45「市民の交流活動の促進（補助制度の活用による支援）」に取り組むこととしております。
8	B	細事業54の「姉妹都市への派遣生の登録制度」が新規事業として取り上げられており、30数年の実績から、派遣生のその後の動向を把握でき、市や宇都宮市国際交流協会等の情報提供から交流活動への参加や継続に資する等メリットが双方にある事業だと思う。個人情報保護の問題など色々課題もあると思うが、早い年度に実現ができるよう期待する。	本計画におきまして、姉妹都市の派遣生が継続的に関わる仕組みとして、50頁の細事業番号54「姉妹都市への青少年派遣生の登録制度」を新たに計上したところであり、今後、早期実施に向けた制度設計に取り組むこととしております。
9	B	「多文化共生の推進が重要である」と考える市民の割合が66.3%である一方、「多文化共生」の認知度は33.6%であり、この数字の根拠は何か。今後の課題として、多文化共生に積極的に取り組む根拠をその数字から導き出すのは無理がある。 多文化共生を目指した事業を宇都宮市国際交流協会で開催してきたが、年に一度程度のイベントでは、市民への周知啓発は難しい。国際交流団体に限らず、自治会や女性団体など協力団体に呼びかけ、全市的な活動として、事業数を増やすことや対象を広げるなど、まずは参加者を増やす計画が必要ではないか。	「多文化共生が重要である」と考える市民の割合」、「多文化共生の認知度」の実績値につきましては、異なる年度に実施しました異なる調査の結果を根拠にしております。 これまで、地域と連携し国際理解講座等の開催地域の拡大に向けた取組を進め、高齢者、主婦、子ども等幅広く市民の理解促進に努めており、今後も引き続き全市域へ、地域展開する中で、多くの市民の参加促進に取り組むこととしております。

10	C	<p>日本人住民・外国人住民の人間関係をつなぐことで地域社会への参画を支援し、双方が生活しやすいまちづくりに貢献するコーディネーターを、地域の実情が把握しやすい地区市民センターや市民活動センター等の職員として配置することを提案する。</p>	<p>地域の中において国際化を推進するキーパーソンの存在が大きいことから、各地域の自治会長や地域コミュニティセンター職員等が主体的に活動していただけるよう、本計画におきまして45頁の細事業番号34「地域リーダーの育成・支援」に取り組むとともに、39頁の細事業番号3「市職員への多文化共生意識啓発研修」において、センター職員を含む市職員への多文化共生の意義等の理解を深めることとしており、ご提案内容につきましては、参考とさせていただきます。</p>
11	C	<p>21頁の「外国人相談窓口の認知度」に関する文章が、他の項目には数値が書かれているが、この認知度には数値がなく、記載されるべき。また、この認知度が上がらないことの理由として、外国人の定住化に伴う相談環境の充実が挙げられているが、違和感がある。</p> <p>また、「外国人相談窓口の認知度」の目標値が他の指標の目標値と比べてかなり高いが、目標達成は厳しいのではないか。</p>	<p>「外国人相談窓口の認知度」につきましては、85頁の外国人住民意識調査の質問項目「知っている行政サービス」のうち、「相談窓口」を選択した割合の26.4%を実績値としております。21頁の記載につきましては、他の項目との整合を図ってまいります。また、家族など身近なところで相談していることが、外国人相談窓口の認知度が上がらない要因の一つと考えたところであります。</p> <p>今後、外国人住民の増加が見込まれることから、引き続き、相談体制の整備や広報紙等での相談窓口の周知に加え、企業等の出前講座や外国人住民が多く利用する行政窓口にチラシを設置するなど相談窓口の周知に努め、目標値の達成を目指すこととしており、ご提案内容につきましては、参考とさせていただきます。</p>
12	B	<p>第2章「4課題のまとめ」における「企業等における外国人へのコミュニケーション支援が必要です」に具体的な内容がイメージしにくい。</p>	<p>外国人住民意識調査の中で「仕事で使う日本語がわからない」の回答が多くあり、企業等における言葉の壁の解消を課題としたところであります。</p> <p>具体的な対応につきましては、本計</p>

			画におきまして39頁の細事業番号4「企業等への多文化共生意識啓発・『やさしい日本語』普及」の中で、仕事等において円滑なコミュニケーションが図れるよう取り組むこととしております。
13	A	第5章については、一般論的なことが書かれていて、各主体との連携については、あまり真剣には考えられていないという印象を持った。「国際化推進員会」がどんな組織構成になるかについて少し言及があっても良い	国際化に関する施策の推進に当たっては各主体の役割と責任のもと連携を図りながら、取り組むことが大切であると考えておりますことから、ご意見の趣旨をふまえ、「多様な主体に期待される役割」等を64頁から66頁に追加いたしました。